

平成28年度全国学力・学習状況調査結果の概要と具体的な取組

和歌山市立高松小学校

1 調査について

- (1) 実施日 平成28年4月19日(火)
- (2) 対象 6年生2学級73名(うち欠席1)
- (3) 目的
 - ①子供の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ②教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
 - ③学校における子供の教育指導の充実や学習状況の改善を図る。
- (4) 調査
 - ①教科 国語、算数
 - ・A問題 基礎・基本の力として身に付けておくべき「知識・技能」の定着を問うもの
 - ・B問題 身に付けた知識を「活用」して、思考・判断・表現し問題解決する力を問うもの
 - ②生活習慣や学校環境に関する質問紙調査
 - ・子供に対する意識調査(全85問)
 - ・学校に対する意識調査(全116問)

2 調査結果の概要

(1) 教科調査

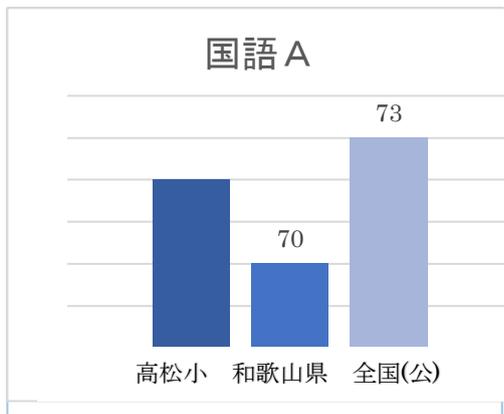
国語

国語の授業において追究課題に迫る「的」を絞り、子供をより深い思考に導いていく取組を行っています。国語Bでは、熟考するという授業スタイルを積み上げてきた成果があがっているといえます。

A問題

総体的に、標準並みと言えます。

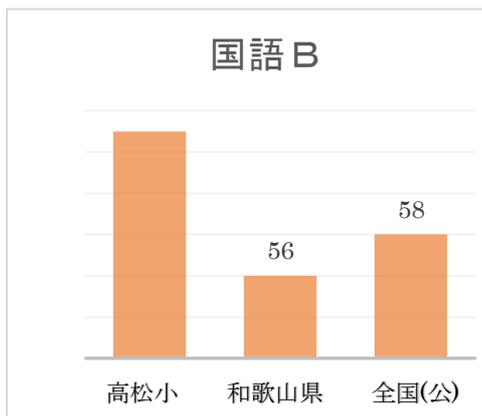
- (1) 漢字を読む・書く・・・できています。「省く」の読みの正答率のみやや低い結果です。家庭学習と小テスト等により、日常的に定着を図っていきます。
- (2) ローマ字を読む・書く・・・全問題のなかで、読む・書くともに正答率が最も低い結果です。錬成の時間「たかまつマスト」でローマ字の課題を出し、習熟を図っていきます。



B問題

総体的に、できています。

- (1) 話す・聞く・・・インタビューに関する問題では、話し手の意図をとらえて、話の展開に沿って質問することができています。
- (2) 書く・・・早寝早起きの活動成果の結果についての問題では、図に示された内容を適切に書くことができています。
- (3) 読む・・・目的に応じて文章を読むなどの効果的な読み方の工夫が理解できています。



算 数

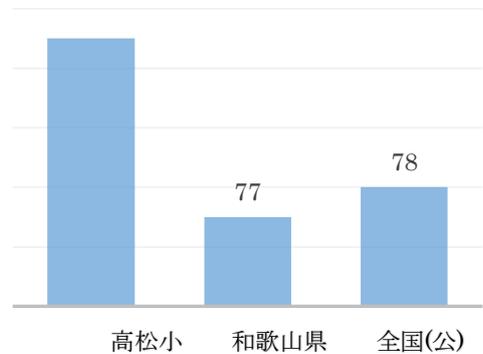
算数の4領域ともバランスよく基礎的・基本的な力が身につけているといえます。今後も、日常的に算数の授業において、低学年から高学年まで算数的活動を通じた学習を重点的に行い、論理を導く言葉を使って自分の考えを筋道立てて書く経験を積み重ねさせ、論理的思考力を培っていきます。

A問題

総体的に、できています。

- (1) 式と計算、量と測定、図形、数量関係・・・4領域とも、バランスよく基礎・基本の力が付いています。今後も日常の授業及び家庭学習との連携により定着を図っていきます。
- (2) 小数や分数の計算では、大きく全国平均を上回っています。
- (3) 無回答率が非常に低く、意欲的に問題に取り組んだと言えます。たかまつの子供の意欲の表れです。

算数A

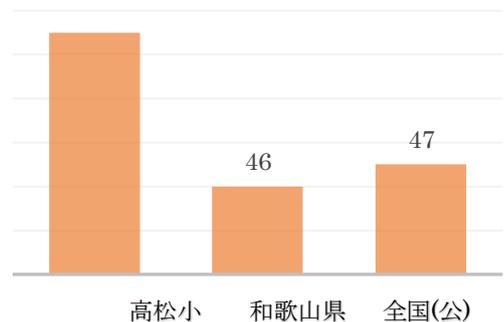


B問題

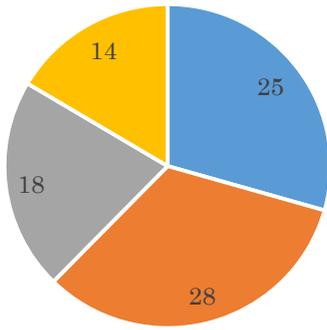
総体的に、できています。

- (1) 数学的な考え方・・・根拠を明らかにして考えを書いたり、示された情報から必要なことを取り出して考え、答えを導いたりすることができています。
「考える子供」の育成は、高松小学校の重点目標です。今後も、ペアやグループによる学び合いの授業スタイルも取り入れながら、すべての学年においてロジカルシンキングを育む算数授業を意図的・計画的に行っていきます。

算数B

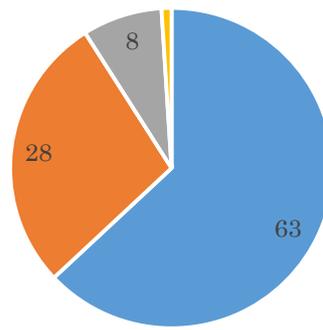


(1) 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。



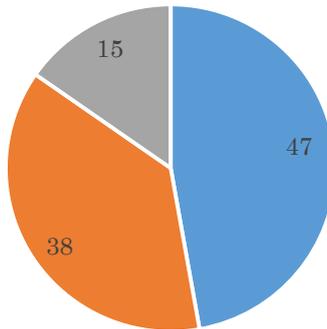
- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない

(2) あなたの学級では、友達同士で話し合っって学級のきまりなどを決めていると思いますか。



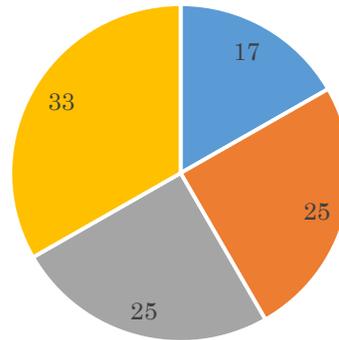
- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない

(3) 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。



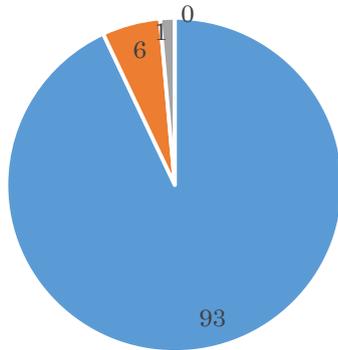
- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない

(4) 新聞を読んでいますか。



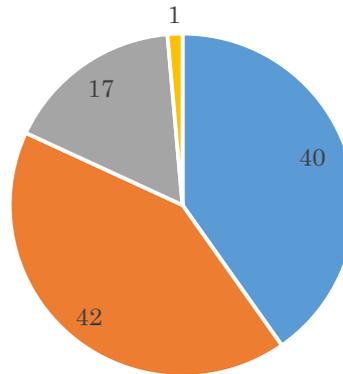
- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない

(5) いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。



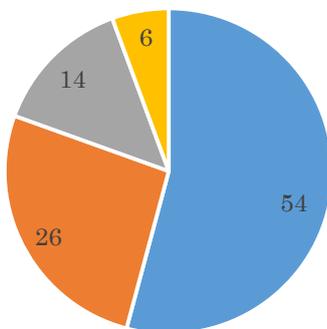
- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない

(6) 総合的な学習の時間の勉強は好きですか。



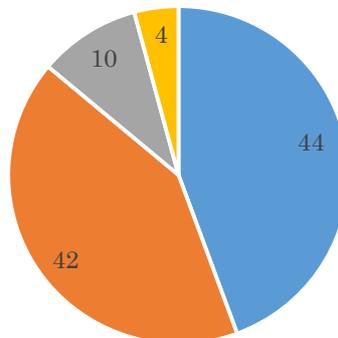
- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない

(7) これまで受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。



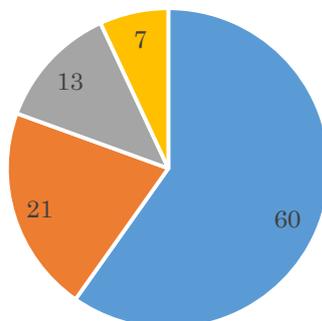
- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない

(8) 国語の授業の内容はよくわかりますか。



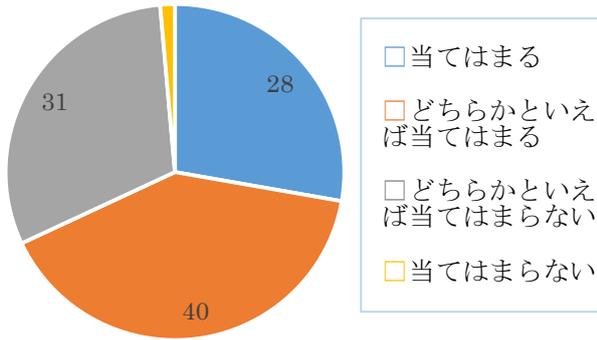
- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない

(9) 読書は好きですか。

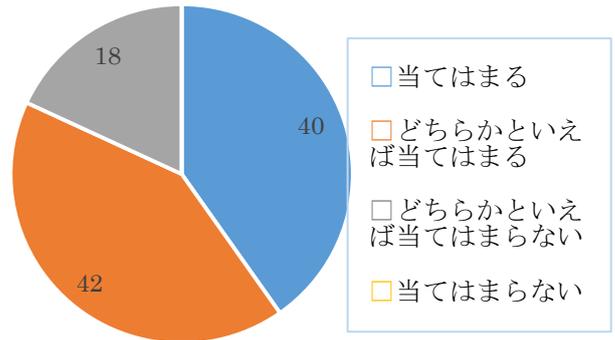


- 当てはまる
- どちらかといえば当てはまる
- どちらかといえば当てはまらない
- 当てはまらない

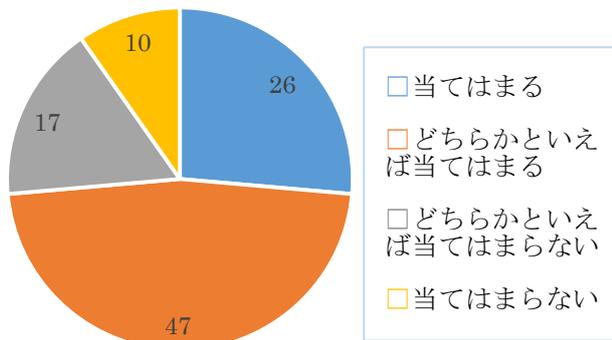
(1) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。



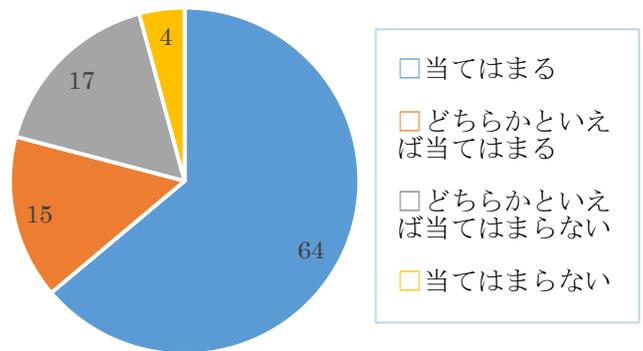
(2) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。



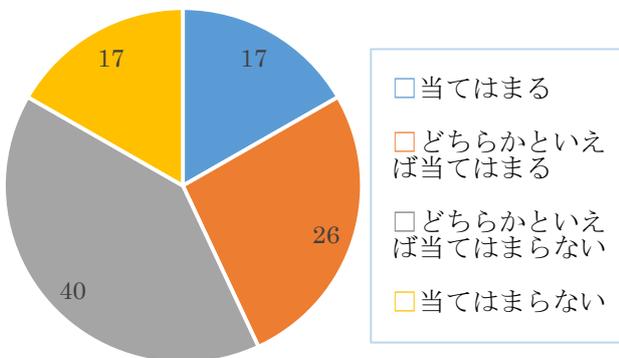
(3) 自分には、よいところがあると思いますか。



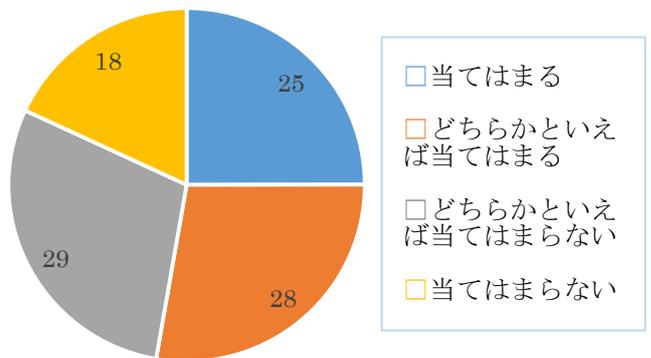
(4) 将来の夢や目標を持っていますか。



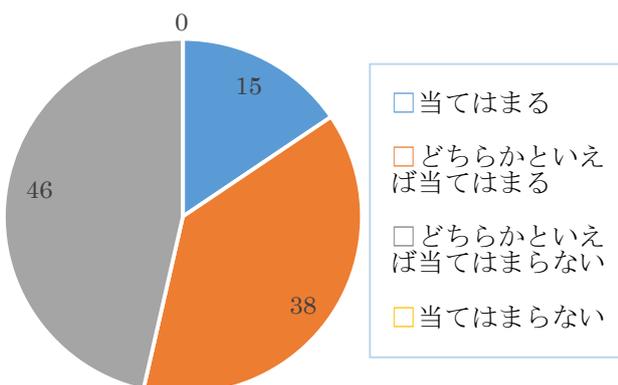
(5) 家で、学校の授業の復習をしていますか。



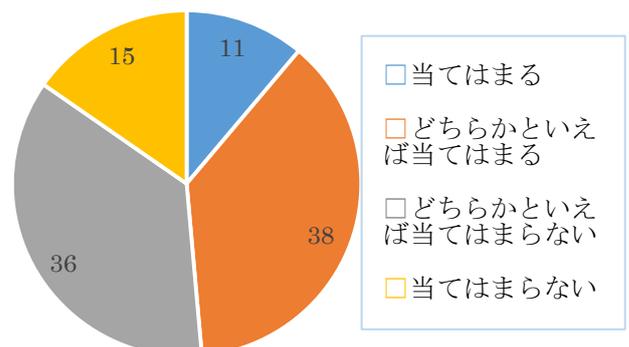
(6) 今住んでいる地域の行事に参加していますか。



(7) 地域社会などでボランティア活動に参加したことはありますか。



(8) 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫していますか。



た

の
し
い
授
業

- 1 めあて
この授業で何を考えるのか子供に学習の「めあて」を明確に示す。
- 2 まと(的)
今、「話し合いの中心は何か」に気付かせ、授業の山場を創っていく。
- 3 聞く耳
本当に考えさせるために、一瞬たりとも友達の発言を聞き逃がさせない。
- 4 すてき見つけ
何よりも、一人一人の子供のすてきを見つけて、ほめ続ける。

か

ん
か
え
る
子
ど
も

- 1 アクティブ
ラーニング
・書いて(描いて)考えさせる。
・比べて考えさせる。
・試行錯誤させ、壁を乗り越える経験をさせる。
- 2 自学・省察
自らの生活体験、間接体験、既習事項などを引き出して考察する習慣づけをする。
- 3 ほめる
いい学びの姿をほめ、伸ばし、認め合う教室の空気を創る。

ま

こ
の
言
葉

- 1 心育て
国語の文学教材を通し人の気持ちに寄り添う経験を積み重ねさせる。
- 2 向き合う
一番伝えたい気持ちは何か、自らの心に向き合い問いかける静かなひとこまを設定する。
- 3 まこと
子供のまことを見つめ続け、教師もまことの言葉で語りかける。

つ

な
が
る
心

- 1 開く
学校を開いて、多様な人々の考えを知る。知恵と能力を取り入れる。
- 2 知る
・友だちのことを知る
・社会のことを知る
・自然とのかかわりを知る
・身近な人々のことを知る
・生きるということについて知る
- 3 つながる
地域と保護者と学校が手を取り合い、子供のために歩む。

子供を見つめ、ほめ、それを学級の皆で共有し認め合う。子供は安心してまことの言葉で、自分の考えを、想いを語り出す。そんな学び合う学級、高め合う集団を創っていくことこそが学力向上への第1歩であると考えます。それが、普段の授業で教師が取り組んでいく「しごと」であると考えます。

基礎・基本的な事項の定着は、学校と家庭で協力し合って積み上げていきましょう。今後もよろしく願いいたします。

和歌山市立高松小学校 校長 西川 厚子

